

◆米粉パン製造技術講習会の開催案内について

水田を有効活用し食料自給率の向上を図るため、近畿農政局では近畿米粉食品普及推進協議会と連携し、米粉利用の推進に取り組んでいます。

この度、近畿米粉食品普及推進協議会では、米粉パンの製造技術の普及とその販売店の増加を図るため、パン製造・販売業、農産物加工業等の食品製造者を対象とした「米粉パン製造技術講習会」を開催しますので案内します。

★日時・場所

- (1) 2月22日(水曜日) 11時 (株)木下商店(京都府京都市南区東九条西明田町49番地)
(2) 2月23日(木曜日) 11時 戸倉商事(株)栗東工場・研修所(滋賀県栗東市東坂53-16)

★講師・内容

講師:大西邦廣氏(近畿米粉食品普及推進協議会技術部副部長)
内容:米粉パン等の特徴と作り方

★募集人員

- (1) 2月22日(水曜日) 36名
(2) 2月23日(木曜日) 30名

★参加費

2,000円(食材費等)

★主催・後援

主催:近畿米粉食品普及推進協議会、(社)米穀安定供給確保支援機構
後援:近畿農政局

★申込方法

以下のアドレスにある<添付資料>「米粉パン製造技術講習会開催チラシ(参加申込書)」により、FAX(075-662-2289)で近畿米粉食品普及推進協議会事務局へお申込ください。

★問い合わせ先

生産部生産振興課 TEL:075-414-9021
FAX:075-414-9030

詳しくはこちら

http://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/120111.html

◆近畿農政局「消費者の部屋」2月展示のご案内

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、里山再生・整備活動や森林環境教育に主眼をおき、「身近な森林の再発見!!」をテーマとして、グループ対抗里山デジカメ選手権を開催しました。

学校、森林・林業活動、企業・家族等のグループを対象に作品を募集し、10月8日、写真家の今森光彦氏、農学博士の只木良也氏、

フリーアナウンサーの青山佳世氏を審査員に迎え、近畿中国森林管理局で公開審査会を開催、審査の結果、最優秀賞(林野庁長官賞)1点を含む10点を決定しました。

今回はこれらの作品を展示します。

★テーマ

身近な森林(もりの)再発見!!
~「グループ対抗里山デジカメ選手権」入選作品展示~

★期間

2月17日(金曜日)8時30分~17時
(最終日は午前中。ただし土・日曜日を除く。)

★場所

近畿農政局1階消費者の部屋「特別展示コーナー」
(京都市上京区西洞院通り下長者町下ル丁子風呂町)

★内容

公開審査により決定した10点の入選作品の展示

★問い合わせ先

消費・安全部消費生活課 TEL:075-414-9761
FAX:075-417-2149

詳しくはこちら

http://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/111227_1.html

和歌山 地域センター

◆「移動消費者の部屋」を開設します。

毎月19日の「食育の日」にあわせ、以下の場所で「移動消費者の部屋」を開設し、消費者の皆様からの食に関する様々な相談をお受けします。

★2月の食育推進 食習慣の乱れ

★2月のテーマ 農山漁村の6次産業化

★場所

JA紀の里めつけもん広場(紀の川市豊田56-3)

★日時

2月19日(日曜日)9時~16時

★問い合わせ先

和歌山地域センター 消費・安全グループ
TEL:073-436-3857

詳しくはこちら

http://www.maff.go.jp/kinki/jimusyo/wakayama/local/info/heyah.html

農林水産省近畿農政局

Table with 4 columns: Office Name, Address, TEL, FAX. Includes entries for 企画調整室, 大津地域センター, 東近江地域センター, etc.



撮影協力:おくだばらえん(京都市伏見区)
「バレンタインにはぜひバラをお使い下さい!」

フラワーバレンタイン

バレンタインデーは「男女が愛や感謝を伝え合う日」となっています。世界の多くの国々では、男性から女性へお花を贈ります。

フラワーバレンタインとは、2月14日に男性から女性へお花を贈る文化を日本で普及していく取組です。

大切な方へ、愛や感謝の気持ちを込めてお花をプレゼントしてみませんか?

詳しくはこちら(外部リンク:フラワーバレンタイン公式ホームページ)
http://www.flower-valentine.com/

◆◆ 主な内容 ◆◆

- トピックス
・近畿農業・農村6次産業倶楽部の部員数が1000に到達しました。
・我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画に関する近畿ブロック会議を開催しました。
・大豆の需要拡大に向けたセミナー及び広域商談会の開催案内について
・米粉の需要拡大に向けたセミナー及び広域商談会の開催案内について
・近畿農政局「消費者の部屋」2月展示のご案内
・「移動消費者の部屋」を開設します。(和歌山)

近畿農業・農村6次産業倶楽部の部員数が1,000に到達しました。

平成22年7月に近畿農業・農村6次産業倶楽部を設立し、皆様のご協力、ご支援により、昨年12月22日に部員数が1,000に到達し、1,000番目の倶楽部員の岡田農園 岡田アサ子さん(京都府京田辺市)にインタビューを行いました。

岡田さんの取組は？

季節のものを使った加工品で、12月～3月にイチゴ大福、1月～3月桜餅、4月～5月柏餅、9月～11月栗大福です。

加工品は、自農園のものを使われるのですか？

餅粉は、約10aで栽培した餅米を粉にして、栗大福の栗も自農園で作ったものを使用しています。今年は人気が出て栗が足りなくなったので、丹波地方から仕入しました。



イチゴ大福

どこで販売されているのですか？

自宅から20分程の「普賢寺ふれあいの駅」で販売しています。

加工品の取組を始めたきっかけは？

最初は勤めながら野菜を出荷していました。直売所の出荷時間が朝7時からと早く、勤めながら出荷することが難しくなったので、加工を始めました。



野菜の収穫

売れる秘訣はありますか？

加工品は味が大切です。その味も常に同じ味を継続することが秘訣です。お客さんから、美味しいって言われるのが一番うれしいです。

今後取り組んでみたいことは？

今までは、消費期限の短いものを取り組んできましたが、今後は日持ちのする瓶詰め加工品を取り組んでみたいです。例えば、自農園では梅を栽培しているので、梅ジャムなどに取り組みたいです。

【事務局から】

近畿の農山漁村の6次産業化に向けて、益々、賛同者である倶楽部員の募集を進めて、倶楽部員同士の連携を図り、新たな産業の創出に取り組んでいくこととしています。今後とも、倶楽部員の皆様のご協力を、よろしくお願い致します。

詳しくはこちら <http://www.maff.go.jp/kinki/seisan/syokuhin/6ji/club1000.html>

「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」に関する近畿ブロック会議を開催しました。

平成24年1月19日(木曜日)京都テルサにおいて、「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」に関する近畿ブロック会議を筒井農林水産副大臣出席のもと開催しました。会議は、農林水産省から「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」に関する取組方針、平成23年度農林水産関係補正予算(第4号)、平成24年度農林水産関係予算の概算決定を説明するとともに、府県等会議出席者との意見交換を行いました。



筒井農林水産副大臣の挨拶



会場の様子



農林水産省からの説明

詳しくはこちら(食と農林漁業の再生推進本部) <http://www.maff.go.jp/j/kanbo/saisei/index.html>

農政局からの お知らせ

◆近畿の伝統農産物やこだわり農産物等を対象とした商談会について

大和野菜をはじめとする伝統農産物やこだわり農産物等を対象に、農林漁業者等と食品企業、飲食店等の結び付き拡大に向けた商談会を開催します。農林業者の皆様、バイヤーとなる食品企業、小売業、飲食店関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

★日時
2月23日(木曜日)13時30分～16時30分

★場所
ホテル日航奈良 4階 飛天
(奈良市三条本町8-1 JR奈良駅西口直結)

★内容
商談に先だつてのPR
商談会

★定員
農林漁業者、食品企業・飲食店等、各15者(社)程度
(参加費無料ですが、6次産業倶楽部PRシートの提出が必須になります。)

★参加費
無料

★募集締切
2月14日(火曜日)

★申込み
以下のアドレスにある近畿の伝統農産物やこだわり農産物等を対象とした商談会(参加申込書)により、FAX(075-414-7345)でお申込みください。

★問い合わせ先
経営・事業支援部事業戦略課
TEL:075-414-9025
FAX:075-414-7345

詳しくはこちら
<http://www.maff.go.jp/kinki/seisan/syokuhin/6ji/240223dentouyasai.html>

◆米粉の需要拡大に向けたセミナー及び広域商談会の開催案内について

米粉の新たな需要創出とマッチングの促進に向け、セミナー及び農業者(団体)と実需者等の商談会を開催しますのでご案内します。

★日時・内容・定員
2月28日(火曜日)
・第一部 10時30分～13時00分 米粉の需要拡大に向けたセミナー及び展示会 90名
・第二部 14時00分～16時30分 米粉等に関する商談会 各15者(社)程度

★場所
ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
(大阪市中央区大手町1丁目3番49号)

★参加費
無料

★申込方法
以下のアドレスにある(添付資料)米粉セミナー及び商談会チラシ(参加申込書)により、FAX(075-414-9030)でお申込みください。

★申込締切
2月21日(火曜日)まで

★問い合わせ先
生産部生産振興課
TEL:075-414-9021
FAX:075-414-9030

経営・事業支援部事業戦略課
TEL:075-414-9024
FAX:075-414-7345

詳しくはこちら
<http://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/120127.html>

◆大豆の需要拡大に関する講演会 ～大豆の魅力再発見～の開催について

大豆は、食料自給率向上に向けての戦略作物として、生産拡大を図ることとしています。このため、国産大豆の安定生産と需要拡大の定着を図ることを目的に、「大豆の需要拡大に関する講演会」を開催します。

★日時
2月23日(木曜日)13時30分～16時20分
(受付13時00分開始)

★場所
キャンパスプラザ京都4F第3講義室
(京都市下京区西洞院通塩小路下る)

★内容
1 講演
・「大豆加工食品の販売拡大を目指して」
～豆腐店のフィールドワークに基づいて～
富山大学 経済学部 教授 坂田 博美 氏
・「豆腐スイーツに挑戦」～豆を取り巻く新たな製品開発～
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 松井元子 氏
・「大豆を使った特産品開発の取組について」
～地元産「もち大豆」を活かして～
(有)ふれあいの里上月 代表取締役 野村 真義 氏

2 意見交換
定員 120名
消費者、生産者、生産者団体、食品関係事業者、府県(行政、普及、試験研究)等

★参加費
無料

★申込方法
・以下アドレスにある別添リーフレット(参加申込書)により、2月13日(月曜日)までに電話又はFAX(075-414-9030)でお申込みください。
・定員を超えて参加していただけない場合のみ連絡いたしますので、連絡がない場合は参加していただけます。
・報道関係者の取材は歓迎しますが、会場準備等の都合がありますので、事前にお申し込み下さい。

★問い合わせ先
生産部生産振興課
TEL:075-414-9021
FAX:075-414-9030

詳しくはこちら
<http://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/120131.html>